

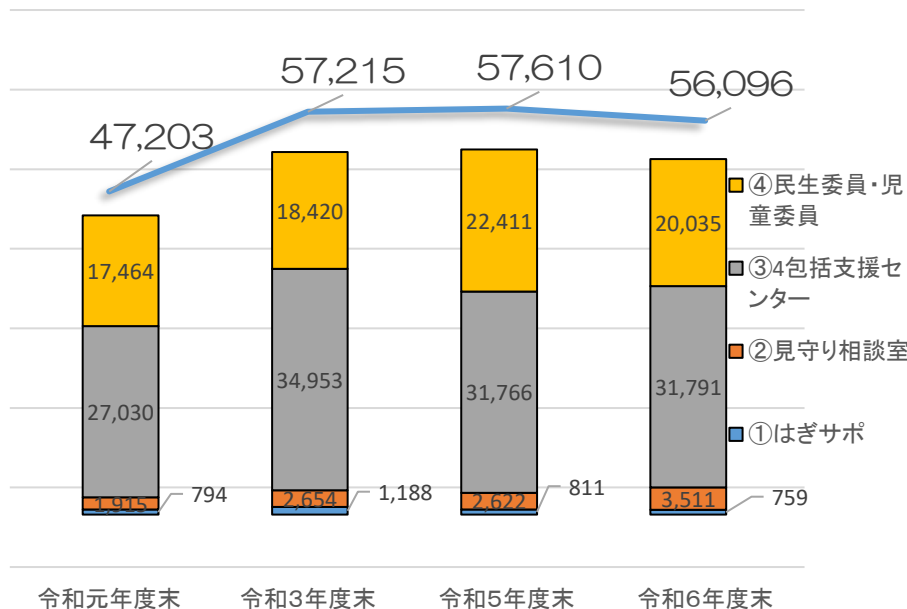
重点項目① 新たな西成区の地域福祉推進体制(つたえる、つくる)

◆気にかける・つながる・支え合うために

**地域の気づきと相談窓口・専門職とをつなぐパイプ役
地域と連携する窓口『かけはし』の充実**



主な相談先と相談件数
(※延べ件数・本人からの相談も含む)



まとめ

地域内の主な相談窓口への相談状況について、高齢者人口が減少傾向のなか、相談件数は増加傾向から横ばいで推移している状況となっている



現在の取組を継続して実施し、「かけはし」の充実を図る

高齢者人口の推移

各年11月1日現在	人口総数	65歳以上人口	比率
R2	105,971	42,733	40.3%
R3	105,418	41,917	39.8%
R4	105,976	40,924	38.6%
R5	105,936	40,070	37.8%
R6	106,063	39,261	37.0%
R7	105,924	38,451	36.3%

大阪市HP「年齢別推計人口」より

重点項目② 地域福祉活動への参加促進と担い手の確保(一緒にすすめる)

◆地域活動へ参加するためのきっかけづくり



eスポーツ体験会の様子

- ▶ 令和7年度eスポーツ体験会を12回実施(12月末現在)
参加179名 (R4:15名、R5:194名、R6:200名)

・老人福祉センター 5回(参加:105名、男性33名、女性72名)
・地域 7回(参加:74名、男性:17名、女性:57名)
【松之宮3回、千本1回、南津守2回、飛田1回】

- ▶ ボウリング大会を8月22日実施、参加:23名(R6:18名)
令和8年3月にもボウリング大会を実施予定
- ▶ 令和8年2月 ネットワーク委員の研修会で体験会を実施



ボッチャ大会の様子

- ▶ 西成区障がい者自立生活支援調整協議会主催
ボッチャ大会 令和8年1月14日 参加:12チーム(約50名)
- ▶ 第3回ジャガピー杯ボッチャ大会
令和8年1月31日(予選17・23日) 参加:39チーム(約200名)
うち、こども3チーム(14名)
- ▶ サポーター向けスキルアップ講習会の開催
令和7年12月9日(11名)

まとめ

・eスポーツは、地域への周知を継続したことで出張開催の相談が増加
・ボッチャは地域などの各関係者と調整を行うことでこどもの参加につながりはじめた



参加者の多くは高齢者であるため、世代間・地域間など相互の交流や、担い手創出への取組を継続して実施する

重点項目② 地域福祉活動への参加促進と担い手の確保(一緒にすすめる)

◆ 同じ地域で生活する外国人住民とつながるために

令和7年11月29日に地域福祉フォーラムを開催
→多文化共生フェスタinにしなりと同時開催

- ・参加者:62人(20~80代)
アンケート回答者:44人(うち西成区居住者 32人)
- ・「このフォーラムが身近な地域で見守りや助け合いなどのつながりづくりに役に立つ」と回答した人数:43人(有効回答者43人中)

(参加者アンケートの自由意見から抜粋)

- ・こちらから積極的に声掛けしていこうと思います
- ・外国人住民の方との交流会があればいいな
- ・外国人の素直な思いをもっと聞きたい など

西成区地域福祉フォーラム
いろんな人がいるからおもしろい!
~共に支え合う地域づくりをめざして~

国籍や民族の異なる人々が、お互いの文化や習慣を理解し合い、日常生活の中で交流を深めることが大切です。実際に日本で生活している外国につながる住民のみなさんの話を聞き、一緒に理解を深めましょう!

日時 令和7年11月29日(土)
午前10時30分~(開場:午前10時)

場所 西成区民センター 1階ホール
西成区草屋1-1-50

内容 講演 外国人とともに暮らすとは
- お互いのことをもっと知るために -
講師:公益財団法人大塚国際交流センター
常任理事兼事務局長 梅元 理恵 氏

パネルディスカッション
文化や生活習慣などの違いについて
外国につながる住民のみなさんの声を聞いてみよう!

〈同日開催〉
多文化共生フェスタ in にしなり
午後1時より
西成区民センターにて

申込不要 参加費無料 手話通訳・要約筆記あり

主催 西成区地域福祉推進会議(事務局:西成区役所、西成区社会福祉協議会)
お問い合わせ 西成区役所保健福祉課(地域福祉担当) TEL:06-6659-9857
西成区社会福祉協議会(障害り相談室) TEL:06-4967-4682



パネルディスカッションの様子

まとめ

アンケート結果から、異なる文化や習慣などについて、互いに理解し、外国人住民と日常でのつながりを深めていくことに関心が高いと考えられる



令和8年度も、多文化共生などの地域福祉につながるフォーラムの開催を検討する

重点項目④ 複合的な課題を抱えた人への支援体制の構築(支援する)

◆さらなる支援者間(多職種)の連携

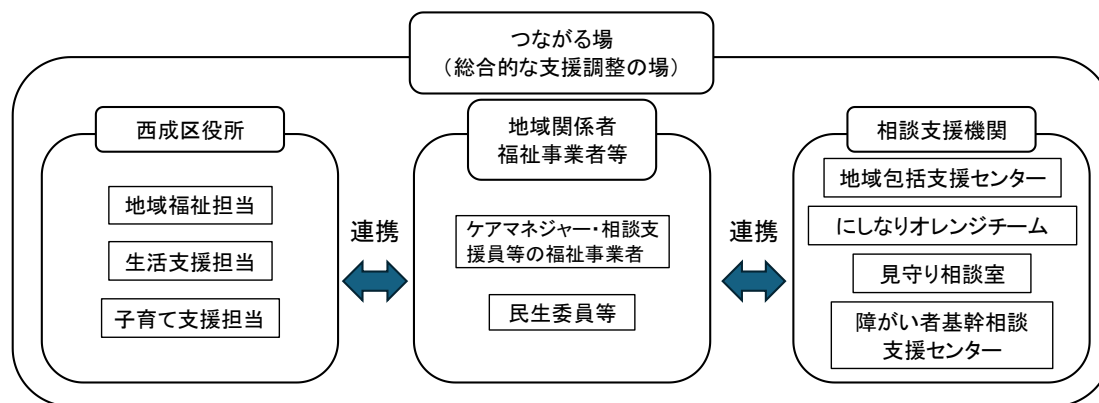
➤「かけはし」の認識を深め、複合的な課題を抱えた人の適切な支援につなげる

- ・西成区障がい者自立生活支援調整協議会 精神保健福祉連携部会(R7.5.16)
- ・生活保護担当新任研修会(R7.5.28)
- ・西成区(北・中・南)ブロックケアマネジャー勉強会(R7.10~R8.2)
- ・新任民生委員児童委員及び主任児童委員研修会(R8.1.27)
- ・西成区地域ネットワーク委員研修会(R7.6.4)(R8.2.10)
- ・区役所全職員に対し感度向上eラーニング研修(R8.2月~3月)

➤令和7年度「つながる場」の開催状況(令和8年1月末時点)

- ・相談件数 : 23件
- ・開催件数 : 6件
- ・参加者数 : 56人

	R2	R3	R4	R5	R6
相談件数	12件	13件	25件	24件	25件
開催件数	6件	5件	9件	10件	8件
参加者数	85人	79人	101人	107人	76人



まとめ

- ・「かけはし」の認識を深めるため、各種会議、研修会等において周知を実施
- ・各種窓口からの相談、情報提供によりつながる場を開催し、課題解決に向け連携している



引き続き情報を発信することで、地域の協力者に「かけはし」の認識を深め、さらなる支援者間の連携に取り組む

重点項目③ 要援護者の発見と地域における見守り体制の強化(支える体制をつくる)

重点項目⑤ 地域の生活課題の解決や自分達の住む地域を「考える」場づくり支援

<共通テーマ:要援護者名簿の活用と地域の見守りについてみんなで考える>

日常生活や災害時において、
何らかの支援が必要な人の名簿

◆要援護者名簿をもとにした個別避難計画の作成

- ・要介護5の単身世帯を優先的にアプローチ
- ・介護事業者(ケアマネジャー)の協力

個別避難計画作成状況	
令和4年度末	3件
令和5年度末	128件
令和6年度末	227件
令和7年度(12月末)	307件 (累計)

◆要援護者名簿(西成つながり名簿)の活用に向けて

- ・8月から順次、新しい要援護者名簿を各地域へ提供
- ・地域から情報提供があったものは、次回の名簿へ反映
- ➡地域が把握している地域住民の情報と行政情報を掛け合わせることで地域の見守りの意識を高める



まとめ

個別避難計画作成に向け、地域にある介護事業者との協力が進んでいる



現在の取組を継続し、地域との連携を深めていく

名簿提供時に、地域の取組状況や課題を聞き取る



引き続き、要援護者名簿の活用について、地域との連携を図る

重点項目⑤ 取組状況

天下茶屋地域

◆東部地域包括支援センター、玉出地域包括支援センター、見守り相談室等が連携し、「見守り声掛け訓練」を実施

- ➡道に迷っているかもしれない人を見かけたとき、どのように声をかけ、対応するかを実際に体験
- ➡来年度以降も、他の地域での実施を検討



参加者の感想など

- ・その場で話を聞くよりも、一緒に付近を歩き、景色を見てもらうことで何かを思い出せることもあることに気づくことができた
- ・問いたただすのではなく、目線を合わせ、何気ない会話から状況を聞き出すことが大切
- ・訓練の内容を地域内で共有することで、地域の見守り力の向上につながると感じた

飛田地域

◆民生委員が、要援護者名簿を活用し家庭訪問を実施

<継続中>

- ➡民生委員と見守り相談室・包括支援センター・ランチが協力し、地域内のマンションを個別訪問し状況の把握を実施
- ➡地域でのつながりのきっかけとなるとともに、NPO法人大阪災害ボランティアによる避難所や備蓄倉庫の案内を兼ねることができている

津守地域

◆町会未加入地域(市営住宅)において、情報発信・居場所と見守りを兼ねる場として茶話会を7月24日と11月28日に開催

- ➡18名の参加があり、住民同士が顔見知りになるきっかけやつながる貴重な場となり、不定期ではあるが、今後も継続予定